

4 外張り断熱工法

4-6 縦胴縁仕様 各部の規定

3) 胴縁

① 材質・寸法

木胴縁の厚み、樹種は次の例を参考にしてください。

スギ材の場合は厚み18mm以上、ベイツガ材の場合は厚み15mm以上の乾燥材を使用してください。

これら以外の胴縁下地組みについては、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

※出隅部などに関して、胴縁幅が90mmでは納まらない場合は、幅を大きくするなどして躯体に確実に留め付け、またモエンが確実に留め付けられるようご注意ください。

② 留付ビス

シネジック株式会社製 『パネリードⅡ⁺ (プラス)』

●断熱材の厚みにより下記表の指定ビスを使用してください。

断熱材の厚み	パネリードⅡ ⁺ (プラス)
30mm以下	φ6mm×100mm (P6×100Ⅱ ⁺)
40mm以下	φ6mm×110mm (P6×110Ⅱ ⁺)
50mm以下	φ6mm×120mm (P6×120Ⅱ ⁺)

※上記ビス長さは胴縁厚が18mmの場合です。胴縁厚がこれを超える場合は、その分長いビスを使用してください。

お問い合わせ先 シネジック株式会社 TEL 022(351)7330

③ 留付ビス間隔

●モエンの張り方向・重量(気乾)により、下記表の間隔で留め付けます。

モ エ ン		ビス留付間隔	該当サイディング
張り方向	重量(気乾)		
横張り	22kg/㎡以下	455mm以下	M・W・S・COOL(16mm厚品) EX(16・18mm厚品)
	22kg/㎡超え26kg/㎡以下	303mm以下	COOL(18mm厚品)
	26kg/㎡超え28kg/㎡以下	250mm以下	EX(21mm厚品)※
縦張り	3×10板のみ	455mm以下	M・W(3×10板)

※EX21mm厚品のうち、重量が21kg/枚の製品は303mm以下で施工可能です。

※サイディングの重量は最新のカatalogをご確認の上、ビスの留め付け間隔を決定してください。



胴縁の上下端は、補助棧へ必ず留め付けてください。

